

「透析患者における泌尿器科癌予後に関するリスク因子の検討」についてのご説明

1. 本研究の背景・目的

末期腎疾患患者さんの透析後の生存期間を延ばすには、これらの患者さんのがんリスクを特定することが重要です。血液透析患者さんの大多数は無尿が観察されるため、血尿などといった症状が認められないことがあります。本研究の目的は、透析患者さんにおける泌尿器科癌(前立腺癌、腎細胞癌、尿路上皮癌)の生存期間、発症率、リスク等を調査することで、透析患者さんに対するスクリーニングの仕方について検討をします。

2. 研究の対象

2000年4月～2022年8月に川島病院・川島病院サテライトクリニックで維持透析をされている患者さん

3. 研究方法・研究期間

2000年4月以降で当院で維持透析を行われている患者さんを対象に悪性腫瘍の有無、その後のフォローについての調査を行います。既往歴、内服歴、喫煙歴、血液検査などの調査を行い、リスク因子、発生頻度、遠隔転移の出現、全生存期間、死因などについて検討を行います。

4. 試料等の保存および使用方法について

記録の保管責任者は研究責任者とします。収集した情報は、解析する前に氏名・患者IDなどの個人情報を削り、新たな符号(番号)をつけ、どなたのものかわからないようにします。また他の機関では利用しません。

5. 個人情報の取り扱いに関して

研究成果を学会、雑誌等外部に発表する場合には、研究責任者の責任のもと取り扱うこととします。その際は、個人が誰であるか分からないように匿名化した上で発表します。

6. 本研究への参加を拒否する場合

被験者(および代諾者)より参加拒否の申し入れがあった場合は随時可能です。本研究への参加に同意しない場合は、7. 連絡先までご連絡下さい。

7. 研究機関、研究責任者および連絡先

研究機関 社会医療法人川島会川島病院

研究責任者 原田 怜

連絡先 088-631-0110